



News Release

チームラボ株式会社  
2014年9月

博多の辛子明太子屋「うめ屋」の店頭に、  
チームラボが手がけた映像作品「紅白梅図」



#### 【概要】

チームラボは、博多の辛子明太子屋「うめ屋」に映像作品「紅白梅図」を導入しました。

#### 【本文】

チームラボは、映像作品「紅白梅図」を博多の辛子明太子屋「うめ屋」を博多店に導入しました。  
うめ屋：<http://www.umeyashop.com/>

#### ■導入作品

紅白梅図  
チームラボ, 2014



映像：<https://www.youtube.com/watch?v=ygvfhAepIf0>

平面的だとされる伝統的な日本の美術には、西洋の遠近法とは違った空間の論理構造があると、チームラボは考えています。本作品はその考え（私たちは、それを「超主観空間」と呼んでいます）の基、仮想の3次元空間上で立体的に構築した世界を、チームラボが考える日本の伝統的な空間認識の論理構造によって、日本美術的な平面にしています。

【概要】

うめ屋 博多店

導入開始：2014年10月1日（水）～

設置場所：うめ屋（[福岡県福岡市博多区博多駅南 1-3-9 ザ・ビー博多 1F](#)）

営業時間：9:00～18:00

TEL：0120-777-075

■うめ屋とは

福岡県博多・宗像に拠点を置く辛子明太子製造会社。

歴史や伝統を重んじながら、辛子明太子の可能性を信じて追及する未来志向型会社。

主な実績として、『味噌明太子』モンドセレクション9年連続金賞(2014)、『無着色辛子明太子』水産庁長官賞(2008)、iTQi(国際味覚品質協会)2年連続優秀賞(2009)、『味つけたらこ』モンドセレクション4年連続最高金賞(2011)。

日田天領水(大分県)と『日田天領水使用 無着色辛子明太子』(2009)を共同開発。ゴーヤカンパニー(沖縄県)と石垣島産の島唐辛子を使った『島めんたいこ』(2013)を共同開発など多数コラボ実績あり。

今後の展望として、現在、HACCPの認証を取得するため工場を改修中(2014年秋ごろ完成)。安心・安全の裏付けを行える管理体制をとり、国内はもちろん、海外に向けた製品づくりを目指す。単に美味しさや新しさを求めるだけではなく、そこの背景を理解した製品づくり・人づくりを行うことを信条としている。

HACCPとは(厚生労働省 HP)

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/shokuhin/haccp/index.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/haccp/index.html)

#### ■チームラボとは

プログラマ・エンジニア（UI エンジニア、DB エンジニア、ネットワークエンジニア、ハードウェアエンジニア、コンピュータビジョンエンジニア、ソフトウェアアーキテクト）、数学者、建築家、CG アニメーター、Web デザイナー、グラフィックデザイナー、絵師、編集者など、スペシャリストから構成されているウルトラテクノロジスト集団。サイエンス・テクノロジー・アート・デザインの境界線を曖昧にしながら活動中。

主な実績として、カイカイキキギャラリー台北（台湾）で『生きる』展開催（2011）。『LAVAL VIRTUAL』（フランス）にて「世界はこんなにもやさしく、うつくしい」が建築・芸術・文化賞を受賞（2012）。国立台湾美術館（台湾）にてチームラボ「We are the Future」展を開催（2012）。『シンガポールビエンナーレ 2013』にて、「秩序がなくともピースは成り立つ」を展示（2013～2014年）。「チームラボと佐賀 巡る！巡り巡って巡る展」（佐賀）を開催（2014）。東京駅の商業施設「KITTE」にて、新作「時に咲く花」を常設展示（2014～）。『Art Basel - Hong Kong』（香港）にて、「増殖する生命 - Gold」を展示（2014）。Pace Gallery（アメリカ・ニューヨーク）にて『teamLab: Ultra Subjective Space』を開催、デジタルアート作品 6 作品を展示（2014）。『香川ウォーターフロント・フェスティバル』など香川県内 3 会場で、ショーとデジタルアート作品を展示する『チームラボと香川 夏のデジタルアート祭り』を開催（2014）。東京都現代美術館（東京）にて人工衛星の実物大模型に高さ 19m の滝をプロジェクションマッピングする「憑依する滝、人工衛星の重力」を発表（2014）。Pace Gallery（北京）のグループ展『We Love Video This Summer』に参加（2014）。「秩序がなくともピースは成り立つ」が『アルス・エレクトロニカ』にて、Interactive Art 部門の Honorary Mention（入選）を受賞（2014）。

『チームラボって、何者？』がマガジンハウスより刊行（2013年12月19日）。

現在、ハウステンボス（長崎）のイベント『秋の光の王国』にて新作「呼応する木々」を発表（9月13日～10月30日）。

今後の予定として、『国東半島芸術祭』（大分）にて、新作「花と人、コントロールできないけれども、共に生きる - Kunisaki Peninsula」を発表（10月4日～11月30日）、『Garden of Unearthly Delights: Works by Ikeda, Tenmyouya & teamLab』（アメリカ/ニューヨーク）で新作含む 5 作品を展示（10月10日～2015年1月11日）、『チームラボ 踊る！アート展と、学ぶ！未来の遊園地』（東京）にて、デジタルアート作品と「チームラボ 学ぶ！未来の遊園地」を同時展示（11月29日～2015年3月1日）など。

チームラボ株式会社

<http://www.team-lab.com/>

チームラボ作品紹介

<http://www.team-lab.net/>

#### ■本件に関するお問い合わせ

チームラボ（広報担当・工藤／江城／森）

[lab-pr@team-lab.com](mailto:lab-pr@team-lab.com)

03-5804-2356